

福島県総合教育計画
“ふくしまの和”で奏でるこころ豊かなたくましい人づくり
県北教育事務所
「夢を叶える県北の教育」
福島市教育委員会
ふるさとへの誇り 夢とあこがれ 心(ひとみ)かがやく ふくしまっ子

「志高く、確かな目標を持ち、仲間とともに自己を磨く子ども（こぶしっ子）の育成」

◎前年度の反省より
☆礼儀正しい行動
☆自分で考え、判断し、行動する力の育成
☆自ら学ぼうとする姿勢

◎児童の願い
☆友達と楽しく過ごしたい
☆勉強や運動ができるようになりたい
☆認め、励まして欲しい

◎保護者の願い
☆思いやりのある子どもに育てほしい
☆確かな学力を身につけさせてほしい
☆健康でたくましい子どもに育てほしい
☆礼儀正しい行動、節度のある生活を身につけさせてほしい

◎地域の願い
☆地域に支えられ、地域を支える、地域に根ざした学校
☆地域を担う人材を育ててほしい

目指す児童像

自分のよさをよりよく生かそうと
進んで行動できる人間

徳「心やさしい子ども」 **なかよく**

知「自ら学ぶ子ども」 **かしこく**

体「明るくたくましい子ども」 **のびのびと**

《教師像》
☆子どもの目線で考えられる教師
☆子どものよさを認め、ほめる教師
☆子どもによりそう教師
☆子どもを信じ、待つことができる教師
☆子どもと共に歩める教師

《学校像》
☆子どもたちが生き生きとしている学校
☆お互いを大切にできる学校
☆自分らしくいられるとともに、自分のよさを発揮できる学校
☆思ったことを素直に話せる学校
☆全員が目標に向かって行動する活気のある学校
☆互いの意見を尊重し、協力して活動できる学校

【人間関係力】 【自己実現力】 【習慣形成力】

自分自身を見つめ、よさを知り可能性を伸ばす。

集団の中で、自分自身を十分に発揮する力を身につける。

「人・もの・こと」を正しく見つめ、かかわり合い、学び合う。

なかよく(自他への思いやりの心)

○ 集団の一員としての自覚を高め、思いやりのある態度を育てる。
○ 自分や周りを見つめさせ、それらの道徳的価値を自覚させる。

低学年
だれとでも仲良く活動する。
中学年
友だちと協力して活動する。
高学年
相手の立場や気持ちを考えて活動する。

- ◇異学年交流・地域との交流推進
 - ・縦割り班活動の意図的な計画・実践
 - ・地域、保護者、幼保小中との連携推進
- ◇心を育てる教育の推進・道徳教育の充実
 - ・互いのよさを認め合う場の設定
 - ・感謝の心を育てる場の設定
 - ・校外活動時のマナー指導の徹底
- ◇生徒指導の充実
 - ・子どもに寄り添い、良さを認め励ます指導
 - ・あいさつ等礼儀正しい児童の育成
 - ・個別指導の充実と家庭との連携
 - ・月のめあての推進

かしこく(進んで学ぼうとする心)

○ 自ら課題を見つけ、進んで解決する力を育てる。
○ 学習内容の確かな定着を図る指導を工夫する。

低学年
めあてに向かって学習する。
中学年
自分のめあてをもって学習する。
高学年
自分のめあてを立て、見通しをもって学習する。

- ◇複式学級の学び方の指導
 - ・一人学びの仕方の理解を図る
 - ・話し合いの仕方を学ぶ場の設定
 - ・話し合い・学び合いの充実
- ◇日々の授業の充実
 - ・板書・ノート指導の充実
 - ・基礎・基本の定着
 - ・個に応じた支援
 - ・キャリア教育の充実 →学ぶことと自己の将来とのつながりを見通せるようにする
- ◇学びの日常化
 - ・こぶしっ子タイムの工夫(設定)
 - ・読書活動の充実
 - ・各種コンテストの実施 →全校一斉読書の推進
 - ・家庭学習の習慣化(家庭学習スタンダードの自校化)

のびのびと(たくましく伸びようとする心)

○ めあてをもって運動に取り組ませる。
○ 健康で安全な生活への意識化と実践化を図る。

低学年
基本的な生活習慣に気をつけ、元気に生活する。
中学年
基本的な生活習慣の大切さを知り、自分のめあてに向かって生活する。
高学年
健康・安全に過ごす生活習慣を身につけ、自分のめあてをもって生活する。

- ◇教科(教科外)体育での実践
 - ・運動身体づくりプログラムの日常化を図る。
 - ・外遊びの奨励
 - ・運動する楽しさの共有化
- ◇保健指導の充実
 - ・衛生的な生活の推進
 - ・望ましい生活習慣に関する学びの場の充実
 - ・個別指導の充実
- ◇校内外における安全指導の徹底
 - ・廊下や階段の安全な歩行の実践
 - ・登下校時の安全な歩行の実践